

和歌山市立広瀬小学校

平成27年度 全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

調査内容

実施日：平成27年4月21日（火） 対象：第6学年 24人

全国学力・学習状況調査は、出題範囲を調査実施学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、国語・算数・理科の3教科について、「知識」と「活用」の2種類の問題が出題されます。国語A・算数A・理科では、身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などについて、国語B・算数B・理科では、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などについて出題されます。※理科については、「知識」と「活用」の問題が一体的に出題されます。

教科調査の結果分析より

<国語科の傾向>

- 国語A、国語Bの両方で「話す・聞く能力」「言語に関する知識・理解・技能」は、おおむね良好な結果となっています。「読む能力」に関して、ほぼ良好な結果ですが、問題の内容による差が見られました。コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く問題では、指示を守って答えていない解答が見られました。また、説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する問題等では、「最も適切なものを選択」して

いない誤答や「2つ選んで」という指示に従っていない誤答が見られました。【課題1】

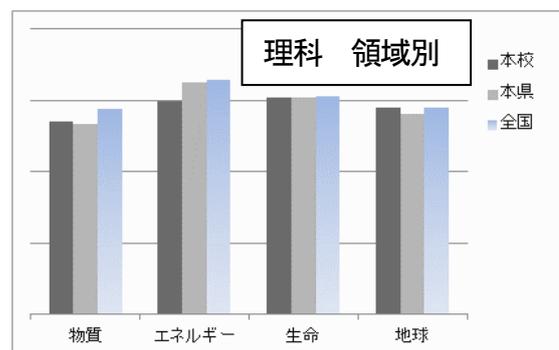
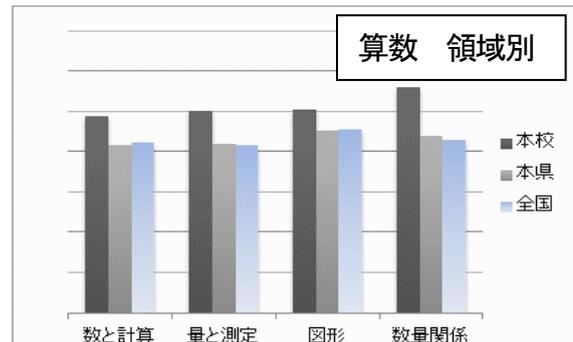
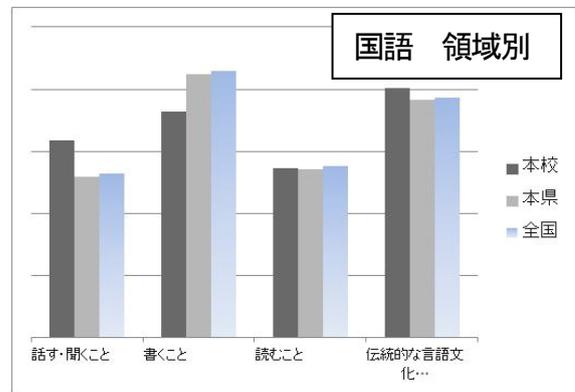
- 目的に応じて、中心となる語や文をとらえたり、要旨をとらえたりすることはほぼできています。しかし、文章と図を関連付けて自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題では、求められている条件に沿って書くことに課題が見られました。これは全国の結果にも見られ、課題は同様であるととらえています。【課題2】

<算数科の傾向>

- 全般にわたり、良好な結果が得られています。
- 計算の仕方を考えることや図形の性質に関することはできていますが、見積もりの仕方と結果の判断や図形の観察と根拠の説明に関する問題ではやや弱さが見られます。判断の根拠が明確に記述されていない解答や必要十分な根拠の説明ができていない解答がありました。

【課題2】

- 180度よりも大きい角のおよその見積もりはできているものの、180度や360度を基に分度器を用いて求める問題に課題があります。見当をつけることはできているが、目盛りをそのまま読んだり、補角の大きさを解答したりする誤答が見られました。



<理科の傾向>

- 全般にわたり、おおむね良好な結果が得られています。
- 主として知識に関する問題は中でも良好といえますが、活用に関する問題では、課題があります。
例えば、振り子が1往復する時間を変える要因を調べるための条件制御の問題では、誤った選択が目立ちました。また、植物の栽培場所を考える問題では、成長と日光の当たり具合を関連させて適切に理由を記述することに課題が見られました。 【課題2】

質問紙調査の結果分析より

<質問紙調査の傾向>

- 『あてはまる・どちらかというにあてはまる』の回答が特に多く見られた項目

「学校に行くのは楽しいと思いますか。」「家で学校の宿題をしていますか。」

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。」

「自分には良いところがあると思いますか。」

「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」「学校の決まりを守っていますか。」

「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか。」

- 改善の余地があると思われる項目

「家で自分で計画をたてて勉強をしていますか。」「家で予習・復習をしていますか。」

「地域や社会でおこっている問題や出来事に関心がありますか。」

「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。」

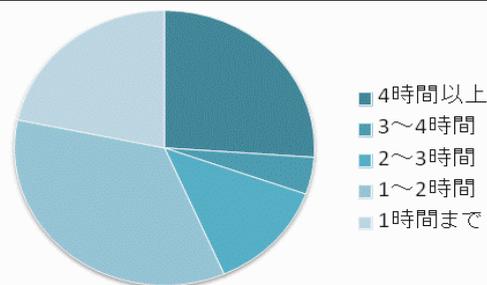
右グラフ参照

「5年生までに受けた授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。」

「5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」

【課題3】

普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。



調査結果を受けて、本校が具体的に取り組んでいくこと

【課題1】 解決のために

- 文章の内容を的確に読み取り理解する力を養うことが必要です。じっくりと読ませて読み取った情報を共有したり、多読により語彙を増やしたりするなど言語感覚を養うことに取り組みます。

【課題2】 解決のために

- 「読む能力」「話す・聞く能力」の長所を保ちながら、設問を的確に読む力や条件に沿って表現する力を高めていく必要があります。確かな根拠を挙げて説明し、筋道を立てて自分の考えを話したり書いたりする学習の機会を設けていきます。

【課題3】 解決のために

- 全国の課題と同様ですが、子どもたち一人一人が考えを持ち、その自分の考え方を深める取組が必要です。実感を伴った理解や持っている知識を活用して考えることについては、課題があると考えています。自分の考えをノートにじっくりと書かせたり、友達と考えを出し合わせたりしながら、課題を解決する過程を大切に授業づくりに取り組みます。また、授業のはじめに目標を示したり、最後に学習の振り返りを行ったりすることは、教員の共通理解のもとに以前から実施しているところですが、継続した取組が重要であると考えています。今後も、様々な手法で、子どもたちが学習の流れをつかみ、確かに学ぶことのできる、よりよい授業を目指して取り組みます。